

船舶事故調査報告書

平成22年9月9日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	釣客死亡
発生日時	不明（平成21年12月27日（日） 12時前～12時10分ごろの間）
発生場所	静岡県下田市爪木埼灯台から真方位102° 2.6海里付近
事故調査の経過	平成21年12月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	遊漁船 ^{いなり} 稲荷丸、13.78トン 241-6928 静岡、個人所有 11.78m(Lr)×3.47m×1.04m、FRP ディーゼル機関、450kW、昭和57年8月1日
乗組員等に関する情報	船長 男性 46歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成4年4月10日 免許証交付日 平成18年9月22日 (平成24年4月9日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（釣客A）
損傷	なし
事故の経過	<p>本船は、船長1人が乗り組み、友人同士である釣客3人を乗せ、爪木埼灯台東南東方沖で、船長が操舵室で操船し、釣客A（男性70歳）が右舷中央部、釣客Bが右舷船首部、釣客Cが右舷船尾部に位置し、北東に向首して流し釣りを行っていた。</p> <p>船長は、釣客Aが操舵室の右舷側を通過してトイレがある船尾の方向へ歩いて行ったのを見ており、釣客Bも、平成21年12月27日12時前に釣客Aが釣りをしていた席からいなくなったことに気付いていた。</p> <p>釣客Bは、釣客Aの帰りが遅いことから、船尾の釣客Cにトイレの中の確認を依頼したところ、トイレの中に釣客Aがいないことが分かった。</p> <p>船長及び釣客2人は、船内を捜したが、釣客Aを発見できず、12時10分ごろ、釣客Aが行方不明であることが判明した。</p> <p>船長は、付近の僚船に無線で連絡を行ったのち、12時12分ごろ下田海上保安部に携帯電話で通報を行った。</p> <p>釣客Aは、12時30分ごろ無線を聞いた漁船に発見され、搬送された病院で死亡が確認され、死因は溺水と検案された。</p>
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 3～4 海象：波高 0.5～1m、海面水温 約17℃

その他の事項	<p>本船は、爪木埼灯台東南東方沖の釣場において漂泊して遊漁中、大きく船体動揺することはなかった。</p> <p>釣客Aは、救命胴衣を着用していなかった。</p> <p>釣客Aは、ふだんから飲酒をしておらず、当時、体調不良を訴えてはいなかった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>釣客Aの死因は溺水であった。</p> <p>本船は、爪木埼灯台東南東方沖において漂泊して遊漁中、釣客Aが、12時前に釣りを行っていた席からいなくなり、12時10分ごろ行方不明となったことが判明したことから、この間において、釣客Aが落水したのと考えられるが、その状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が爪木埼灯台東南東方沖において漂泊して遊漁中、釣客Aが落水したことにより発生したのと考えられる。</p>	